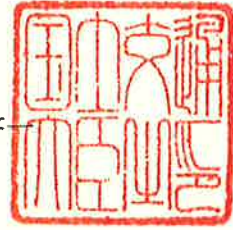


# 認 定 書

国住指第 4585 号  
平成 30 年 4 月 13 日

日鐵住金建材株式会社  
代表取締役社長 中川 智章 様

国土交通大臣 石井 啓



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法第 2 条第七号並びに同法施行令第 107 条第一号及び第二号（床：2 時間（第一号）、1 時間（第二号））の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
FP120FL-0168
2. 認定をした構造方法等の名称  
軽量コンクリート・デッキプレート造床（合成スラブ・連続支持）
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 構造名

軽量コンクリート・デッキプレート造床 (合成スラブ・連続支持)

2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項 目	仕様
床 厚	150 以上 200 以下
荷重と支持間隔の 関係	・支持間隔 3200 以下の場合 全荷重 19649N/mm <sup>2</sup> 以下 ・支持間隔 3200～3600 の場合 全荷重(w) × 支持間隔(L) の 2 乗 = 201.204kN 以下
支 持	連続支持

注) 全荷重 = 固定荷重 + 積載荷重

3. 材料構成

1) 主構成材料

(寸法単位：mm)

項 目	仕様
① デッキプレート	・規 格 JIS G 3352(デッキプレート) ・厚 さ 1.0、1.2、1.6 ・山 高 さ 90 <sub>±1.5</sub> ・働 き 幅 400 <sub>±2.0</sub> ・形状寸法 別添-6 参照 ・種 類 SDP2G
② コンクリート	・種 類 軽量コンクリート ・呼 び 強 度 18～36 ・厚 さ デッキプレート山上から 60 以上 110 以下

## 2) 副構成材料

(寸法単位：mm)

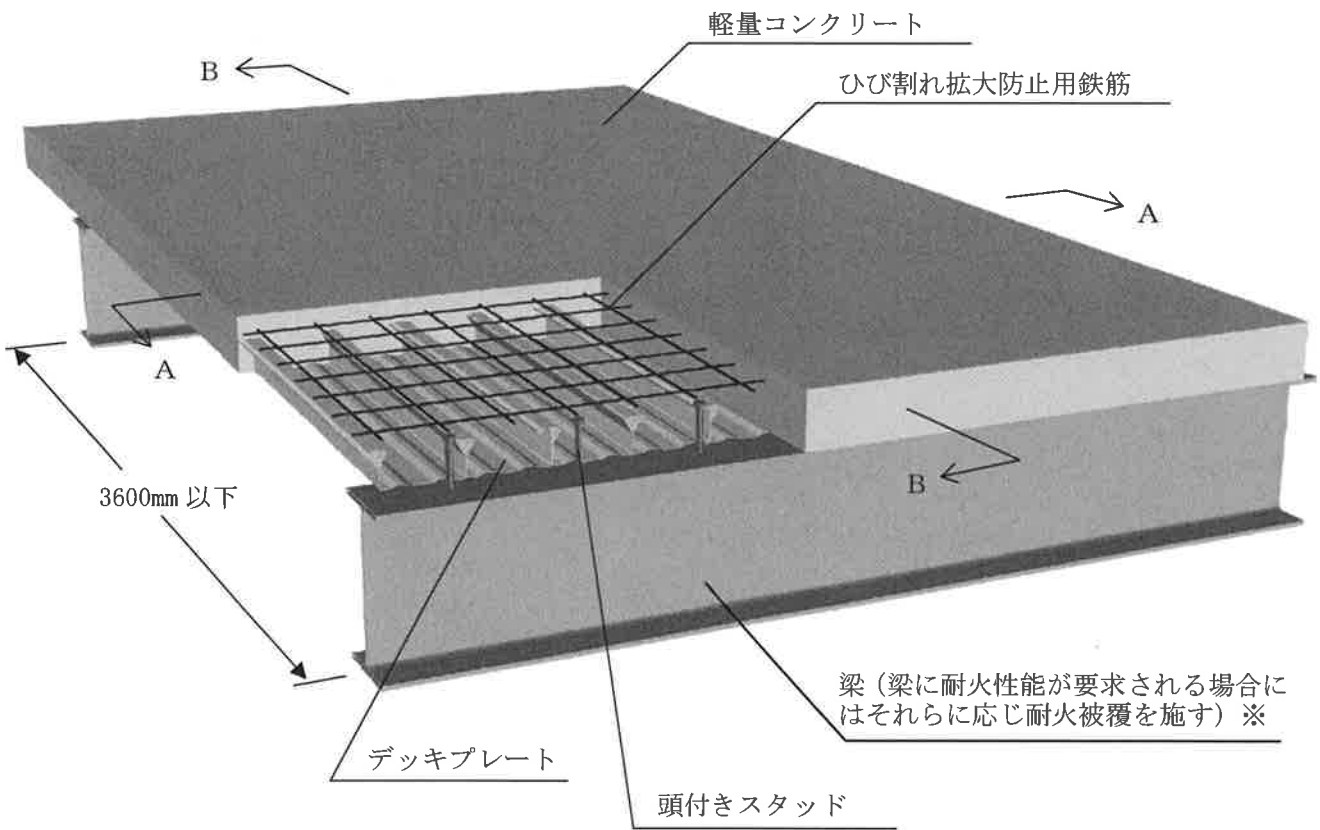
項 目	仕様
①ひび割れ拡大防止用鉄筋	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)溶接金網</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS G 3551</li> <li>・種 類 (イ)～(ニ)のうち、いずれか一仕様とする <ul style="list-style-type: none"> <li>(イ)WFP</li> <li>(ロ)WFC</li> <li>(ハ)WFR</li> <li>(ニ)WFI</li> </ul> </li> <li>・線 径 6 以上</li> <li>・間 隔 150 以下×150 以下</li> <li>・かぶり厚さ 床板上面から 30</li> </ul> <p>(2)鉄筋(異形鉄筋)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・規 格 JIS G 3112 又は JIS G 3117</li> <li>・断面寸法 D10 以上</li> <li>・間 隔 200 以下×200 以下</li> <li>・かぶり厚さ 床上面から 30</li> </ul>
②スペーサー	<p>(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)鉄線</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・線 径 規定のかぶり厚さが確保でき、施工時に変形等しない線径以上</li> <li>・間 隔 1000 以下</li> </ul> <p>(2)セメントブロック</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寸 法 規定のかぶり厚さが確保できる断面寸法以上</li> <li>・間 隔 1000 以下</li> </ul>

項 目	仕様
③はり と 床版の 接合方法	頭付きスタッド ・規 格 JIS B 1198 ・寸 法 $\phi 16$ 以上 $\times$ L120 以上 ・間 隔 大梁 300 以下、小梁 200 以下
④はり と デッキ プレート の接合 方法	(1)～(5)のうち、いずれか一仕様とする (1)アークスポット溶接 (2)すみ肉溶接 (3)焼抜き栓溶接 (4)プラグ溶接 (5)打込み鉚

#### 4. 構造説明図

[透視図]

(寸法単位：mm)

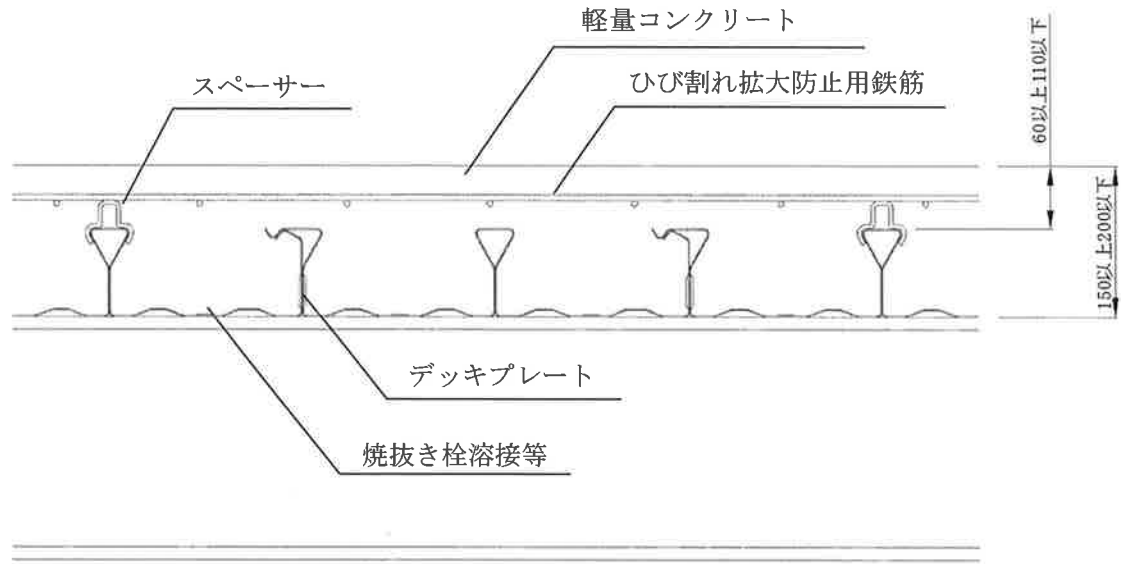


注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

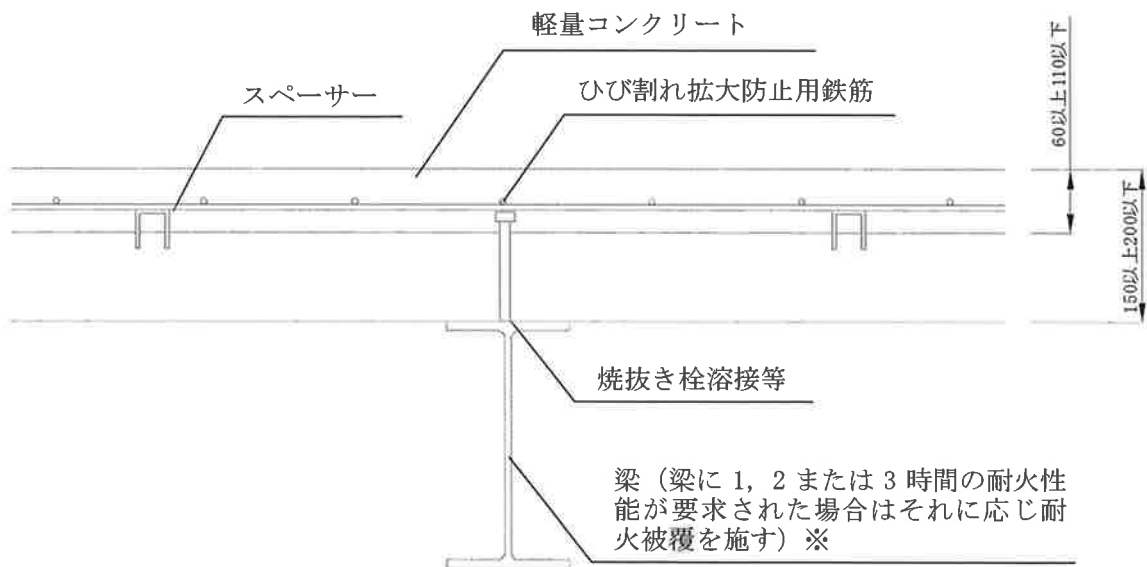
※：本評価内容に含まない

[A-A断面]

(寸法単位：mm)



[B-B断面]



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

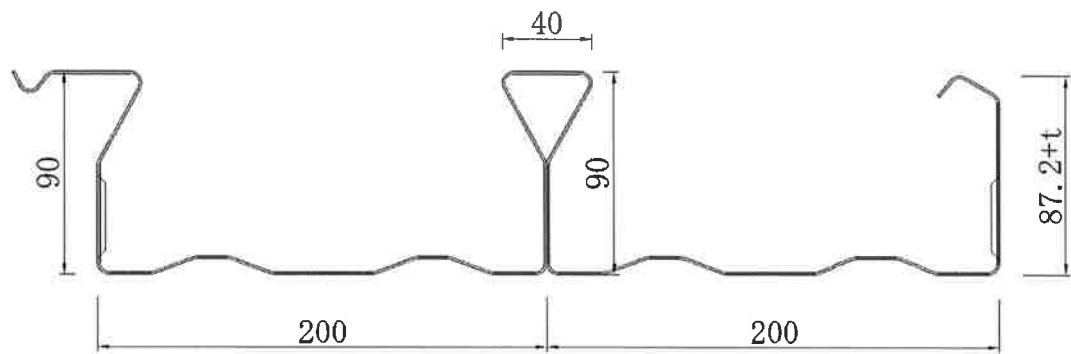
[デッキプレートの形状寸法]

(寸法単位：mm)

働き幅  $400_{+2-2}$

高さ  $90_{\pm 1.5}$

板厚(t) 1.0, 1.2, 1.6



注) 寸法および材料構成は2および3のとおり

※：本評価内容に含まない

## 5. 施工方法等

### <施工図>

#### 4. 構造説明図と同じ

### <施工手順>

#### 1) デッキプレートの敷込み

デッキプレートを墨出し線に合わせて梁に配置し、デッキプレートを梁に溶接等で仮止めする。

#### 2) 床スラブと梁との接合

床スラブと鉄骨梁とは、頭付きスタッドで結合する。

頭付きスタッドの接合方法は、平成14年国土交通省告示第326号の規定または「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」（日本建築学会）もしくは「各種合成構造設計指針・同解説」（日本建築学会）によるものとする。

#### 3) ひび割れ防止の設置

コンクリートのひび割れ拡大防止のため、ひび割れ拡大防止筋はスラブ上面より30mmのかぶり厚さを確保し、継手位置は原則としてデッキプレート中間小梁の上以外に設け、梁上を含め床全面に敷き並べる。

#### 4) コンクリート打設

鉄筋が移動しないよう注意しながらコンクリートを不陸なく打設する。

コンクリートの施工については、日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事」に準拠する。

#### 5) 仕上げ

コンクリートの表面に金ごて等の仕上げを施す。

#### 6) 養生

施工後の養生は、日本建築学会「建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事」に準拠する。